

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 市民-11 観光運営事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	観光商工課	関連課					
分野名	観光						
目標 (目標値)	鎌倉の魅力を広く周知することによって、多くの観光客に鎌倉を訪れてもらうため、さらに、それら観光客が安全で快適に観光を楽しむことができるようにする。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	23,083,038人	19,743,182人	18,110,868人			
事業費(千円)	4,081	4,156	4,939				
運営資源状況	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	4,081	4,156	4,939			
	人員配置数	1.4人	1.9人	1.9人			
	人件費(千円)	11,437	15,627	17,337			
	協働のパートナー	広域観光団体ほか	広域観光団体ほか	広域観光団体ほか			
		推進体制関係団体ほか	推進体制関係団体ほか	推進体制関係団体ほか			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	15,518	19,783	22,276			
	市民1人当りの経費(円)	87	112	126			
	対象者1人当りの経費(円)	1	1	1			
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	横浜	藤沢	箱根	京都	鎌倉	
	観光客数	45,659,080	15,523,628	20,857,000	49,555,000	23,083,038	
	宿泊者数	6,119,746	430,613	4,716,936	13,100,000	340,026	
	宿泊率	13.4%	2.8%	22.6%	26.4%	1.5%	
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
入込観光客数	◎	目標値	1,840万人	1,840万人	1,949万人	1,949万人	1,949万人
		実績値	1,949万人	1,811万人	1,974万人	2,308万人	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
観光運営事業	4,081	観光運営事業	8,327	今後の方向性	B	理由・手法	現在の手法により年度目標が達成されており、実績値が上昇傾向にあるため。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	各種協議会の負担金について、その使用方法、効果、必要性について検証していく。						
課題解決のための取組	富士箱根伊豆国際観光テーマ地区神奈川県協議会の負担金額が60万円から40万円に減額となった。	取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	引き続き、各種協議会の負担金について、その使用方法、効果、必要性について検証していく。						
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		①効率性	△	②妥当性	○	③有効性 ○ ④公平性 ○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	次期観光基本計画の策定に向け、観光基礎調査等の取り組みを行う。各種協議会負担金については、引き続き、その使用方法、効果、必要性について検証していく。				A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ⇒ B		
※□事業完了							

評価者名

観光商工課担当課長

齋藤和徳

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
観光運営事業	関係団体、協議会と連携し、誘客キャンペーンやパンフレットの作成などの広報宣伝や情報交換等				△	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
		384	事務補助嘱託員報酬 2人	2,057	2,056	○	○	○	○
		384	臨時的任用職員賃金	398	385	○	○	○	○
		384	鎌倉市観光基本計画進行管理委員会委員報償費	159	114	○	○	○	○
		384	事務補助嘱託員費用弁償	144	43	○	○	○	○
		384	消耗品費	61	60	○	○	○	○
		1183	観光振興シンポジウム開催委託料	300	250	○	○	○	○
		384	富士箱根伊豆国際観光テーマ地区神奈川県協議会負担金	400	400	△	○	○	○
		384	神奈川県観光振興対策協議会負担金	210	210	△	○	○	○
		384	湘南地区観光振興協議会負担金	243	243	△	○	○	○
		384	鎌倉藤沢観光協議会負担金	180	180	△	○	○	○
※□ 事業完了	384	神奈川県観光協会負担金	90	90	△	○	○	○	
	384	北奈五代観光振興協議会負担金	50	50	△	○	○	○	
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了								